

### 第3回柳瀬川・空掘川流域連絡会 徒歩による空掘川上流現地調査要旨

日 時：平成19年5月13日（水） 14時00分～17時00分

場 所：第二天王橋（集合）～一級終点～玉川上水駅（解散）

出席者：公募委員（林、三木、宮澤、井出、加瀬、小林、軽部、宮下、小倉、長峰、  
原、田口）12名

行政委員（谷野、小野、須崎、梶川、堂垣）5名

事務局等（谷本、沼、藤井）3名

#### 【現地調査要旨】

##### 1. 目 的

空掘川上流の現状を実際に見ることによって、共通の認識を持ちたい。  
連絡会で今後何をしていくかを考える機会とするため。

##### 2. 行 程

14:00	第二天王橋（集合）
	徒 歩
14:30	浄水橋
	”
15:20	狭山橋
	↓ マイクロバス
15:30	高木橋（奈良橋川合流点）
	↓ ”
15:50	庚申橋調整池
	徒 歩
16:05	東芝中橋
	”
16:15	芝中調整池
	”
16:30	上砂橋
	↓ マイクロバス
16:45	一級終点
	↓ ”
17:00	玉川上水駅（解散）

### 3. 調査状況



第二天王橋に集合



上流側右岸から見た第二天王橋付近の状況  
川まつりの準備が行われている



野口橋下流側の親水施設



前野橋から見た西武国分寺線橋梁付近の状況



からぼり広場にて公募委員から現状についての説明を受ける。





浄水橋上流側左岸のワンド。仔魚、稚魚が洪水から避難する場所として造られた。



西武多摩湖線橋梁付近は川幅が5mから26mへ改修された。



西武多摩湖線橋梁上流側左岸の排水口。砂れき層に浸透した雨水を流している。



清水富士緑地にて公募委員から現状についての説明を受ける。



清水橋右岸の排水口。水が汚く見た目に悪い。



第四小学校対岸(左岸)の花壇。  
ボランティアが植栽を行っている。



奈良橋川との合流点にて。最も水害のひどい場所で今後も改修が進められる。



庚申橋調節池にて。23,000tの貯水能力があり、65mm/hの雨に対応するために深く造られた。



砂の川橋付近から下流を望む



東芝中橋右岸の工場排水  
4,000t/日で最大の水源となっている。



芝中調節池にて。40,000t の貯水能力がある。



立野橋から下流を望む



立野橋から上流を望む



上砂橋から見た上流側の上砂・神明調節池



一級終点

#### 4. 調査結果

- ・ 会議を行わないため、調査表を参加委員に配布し、事務局宛郵送していただいた。

##### ①現地調査を終えて、空堀川上流についての感想。

- ・ 流れが細くなり涸れている状況は忍びがたい。
- ・ 上流地点の全く水の無い場所は当然だが、水量の確保を真剣に調査、検討する必要性を痛感した。
- ・ 空堀川一級終点まで現地を見て、流量確保の重要性が再認識できた。
- ・ 空堀川の両岸はきれいに舗装され、市民の散歩コースとして広く利用されていることが分かった。また川幅も広くなり、しっかりと治水対策が施されていることを実感した。
- ・ 植栽出来る場所があるのに、河畔林が少なく淋しいし(東大和市)木かげが無く残念。

##### ②柳瀬川・空堀川流域連絡会のテーマや今後の進め方

○(仮称)水循環分科会、(仮称)河川環境分科会のうち、どちらを希望するかについて。



○取り組み内容について。

〔(仮称)水循環分科会〕

- ・ 水循環の現状とあるべき健全な水循環の差異を客観的に明らかにして、その差異を解消する方策を探り、具体的方向を定めたい。
- ・ 秋が瀬取水堰から新河岸川への放流水を水道の管渠に乗せ、空堀川東村山浄水場から放流する水循環の大きな環を実現したい。
- ・ 水量確保のケーススタディ、水質向上策

〔(仮称)河川環境分科会〕

- ・ 治水優先で環境整備を考えていきたい。

○その他意見

- ・ 空堀川の最大の問題は、「水涸れ」であり、分科会を2つにすることには賛成できない。
- ・ 不勉強でどちらかきめかねます。川に水がなければ川とはいわないと思いますし、水辺の環境を整えなければと思います。